



平成30年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年9月29日

上場会社名 スギホールディングス株式会社
 コード番号 7649 URL <http://www.drug-sugi.co.jp/hd>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎原 栄一

問合せ先責任者 (役職名) 事業推進室長 (氏名) 笠井 真

TEL 0562-45-2703

四半期報告書提出予定日 平成29年10月12日 配当支払開始予定日 平成29年11月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----|--------|-----|--------|-----|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年2月期第2四半期 | 229,499 | 5.4 | 12,564 | 7.4 | 13,078 | 7.5 | 8,679 | 17.2 |
| 29年2月期第2四半期 | 217,810 | 4.6 | 11,694 | 9.9 | 12,166 | 9.3 | 7,406 | 8.1 |

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 8,738百万円 (17.0%) 29年2月期第2四半期 7,466百万円 (8.2%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年2月期第2四半期 | 137.09 | |
| 29年2月期第2四半期 | 116.99 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年2月期第2四半期 | 250,339 | 155,937 | 62.3 | 2,462.91 |
| 29年2月期 | 230,664 | 148,782 | 64.5 | 2,349.90 |

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 155,937百万円 29年2月期 148,782百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年2月期 | | 25.00 | | 25.00 | 50.00 |
| 30年2月期 | | 25.00 | | | |
| 30年2月期(予想) | | | | 25.00 | 50.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年2月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 記念配当5円00銭

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|-----|--------|-----|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 455,000 | 5.6 | 24,000 | 5.1 | 25,000 | 4.7 | 15,700 | 5.0 | 247.97 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年2月期2Q | 63,330,838 株 | 29年2月期 | 63,330,838 株 |
| 期末自己株式数 | 30年2月期2Q | 16,663 株 | 29年2月期 | 16,460 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 30年2月期2Q | 63,314,262 株 | 29年2月期2Q | 63,314,700 株 |

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する分析

(当期の経営成績)

当第2四半期連結累計期間(平成29年3月1日～平成29年8月31日)におけるわが国の経済は、底堅い内外需を背景に、いざなぎ景気に迫る長期間の景気回復が続き、総じて堅調に推移いたしました。

しかしながら、企業収益の伸びに比し鈍い動きの賃上げ状況や、社会保険料などの負担増、年金・医療・介護費用などの将来不安から、個人消費は盛り上がりには欠け、先行きについても、不透明感は払拭されない状況が続きました。

ドラッグストア業界を取り巻く経営環境につきましても、同業他社や異業種・異業態による積極的な出店や価格競争に加え、M&Aによる規模拡大、同質化した熾烈な競争、人手不足も影響し、当社を取り巻く経営環境の厳しさは継続しました。

このような環境のなか、当社グループは、お客様ニーズや競争環境の変化に迅速かつ的確に対応できる「営業体制づくり」、「調剤・ウェルネスを基軸とした商品・サービスの拡充」、行政・団体・地元企業などと連携した「地域密着・深耕策の推進」、地域ドミナント強化を目的とした「スクラップ&ビルド・改装の実施」、当社が差別的優位性を発揮する際の中核となる「人材育成の強化」、「オペレーションコストの低減」などに積極的に取り組みました。

具体的には、

- ① お客様ニーズに合致した商品を迅速に売場展開し、個店単位でニーズに合った売場づくりを推進するための「営業・商品・販促が三位一体となった営業体制づくり」
 - ② 後発品の利用促進、特定疾患向けの啓蒙強化、薬剤情報の一元管理サービスの提供強化などの「処方せんの応需枚数増加策の実施」
 - ③ 行政・団体・地元企業などと連携した健康測定会・健康教室・ウォーキング大会、管理栄養士による栄養アドバイス・食事相談会など、中部圏を中心とした「地域密着・深耕策の推進」
 - ④ 優先出店エリアへの積極的な新規出店、小型店を大型化する増床改装など、商勢圏確立に向けた計画的かつ積極的な「スクラップ&ビルド・改装の実施」
 - ⑤ 将来の事業拡大の中核を担う店舗人材の育成を目的とした入社後研修・社内大学など、実践・実学に基づく「研修・教育の充実」
 - ⑥ 店舗システムの全面的入替および発注システムの精度向上などの「店舗の効率向上策の実施」
- 等々に取り組んでまいりました。

店舗の出退店等につきましては、36店舗の新規出店、31店舗の中・大型改装、13店舗の閉店を実施してまいりました。これにより、当第2四半期末における店舗数は1,071店舗(前期末比23店舗増)となりました。

以上の結果、売上高は2,294億99百万円(前年同期比5.4%増、116億88百万円増)、売上総利益は651億51百万円(同9.7%増、57億64百万円増)、販売費及び一般管理費は525億86百万円(同10.3%増、48億94百万円増)、営業利益は125億64百万円(同7.4%増、8億69百万円増)、経常利益は130億78百万円(同7.5%増、9億12百万円増)、これに伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益は86億79百万円(同17.2%増、12億72百万円増)となりました。

なお、当社の事業セグメントは単一セグメントですので、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

総資産は、現金及び預金、売掛金および有価証券の増加等により、2,503億39百万円(前連結会計年度末に比べて196億75百万円増加)となりました。負債は、買掛金および未払法人税等の増加等により、944億2百万円(同125億20百万円増加)となりました。純資産は、利益剰余金の増加等により、1,559億37百万円(同71億54百万円増加)となり、自己資本比率は62.3%(前連結会計年度末比2.2ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月11日に公表いたしました連結業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年2月28日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 66,425 | 77,491 |
| 売掛金 | 15,208 | 17,810 |
| 有価証券 | 15,000 | 17,000 |
| 商品 | 49,990 | 50,448 |
| その他 | 10,764 | 10,475 |
| 貸倒引当金 | △1 | △1 |
| 流動資産合計 | 157,387 | 173,224 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 33,255 | 35,098 |
| その他(純額) | 12,775 | 14,126 |
| 有形固定資産合計 | 46,031 | 49,225 |
| 無形固定資産 | 3,242 | 3,258 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 17,442 | 17,557 |
| その他 | 6,618 | 7,131 |
| 貸倒引当金 | △57 | △58 |
| 投資その他の資産合計 | 24,003 | 24,630 |
| 固定資産合計 | 73,277 | 77,115 |
| 資産合計 | 230,664 | 250,339 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年2月28日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 48,661 | 57,438 |
| 未払法人税等 | 1,897 | 3,506 |
| 賞与引当金 | 907 | 969 |
| その他 | 19,204 | 20,819 |
| 流動負債合計 | 70,670 | 82,733 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 4,580 | 4,775 |
| 資産除去債務 | 4,150 | 4,332 |
| その他 | 2,480 | 2,561 |
| 固定負債合計 | 11,211 | 11,668 |
| 負債合計 | 81,882 | 94,402 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 15,434 | 15,434 |
| 資本剰余金 | 24,632 | 24,632 |
| 利益剰余金 | 108,856 | 115,953 |
| 自己株式 | △46 | △47 |
| 株主資本合計 | 148,877 | 155,973 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 82 | 96 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △178 | △132 |
| その他の包括利益累計額合計 | △95 | △36 |
| 純資産合計 | 148,782 | 155,937 |
| 負債純資産合計 | 230,664 | 250,339 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 217,810 | 229,499 |
| 売上原価 | 158,424 | 164,348 |
| 売上総利益 | 59,386 | 65,151 |
| 販売費及び一般管理費 | 47,692 | 52,586 |
| 営業利益 | 11,694 | 12,564 |
| 営業外収益 | | |
| 固定資産受贈益 | 164 | 201 |
| 受取賃貸料 | 653 | 756 |
| その他 | 234 | 218 |
| 営業外収益合計 | 1,052 | 1,176 |
| 営業外費用 | | |
| 賃貸収入原価 | 500 | 539 |
| その他 | 80 | 122 |
| 営業外費用合計 | 580 | 662 |
| 経常利益 | 12,166 | 13,078 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 444 | 129 |
| 特別損失合計 | 444 | 129 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 11,721 | 12,949 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,762 | 4,451 |
| 法人税等調整額 | 552 | △182 |
| 法人税等合計 | 4,314 | 4,269 |
| 四半期純利益 | 7,406 | 8,679 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 7,406 | 8,679 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 7,406 | 8,679 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6 | 13 |
| 退職給付に係る調整額 | 53 | 45 |
| その他の包括利益合計 | 59 | 58 |
| 四半期包括利益 | 7,466 | 8,738 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 7,466 | 8,738 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 11,721 | 12,949 |
| 減価償却費 | 2,606 | 3,057 |
| 減損損失 | 444 | 129 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △1,095 | 62 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △197 | △2,601 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △464 | △463 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 5,559 | 8,773 |
| その他 | 678 | 1,796 |
| 小計 | 19,253 | 23,702 |
| 利息及び配当金の受取額 | 31 | 13 |
| 利息の支払額 | △11 | △11 |
| 法人税等の支払額 | △5,461 | △2,882 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 13,812 | 20,823 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △45,000 | △47,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 40,000 | 49,000 |
| 有価証券の取得による支出 | △21,000 | △31,000 |
| 有価証券の償還による収入 | 20,800 | 25,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △5,087 | △4,579 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △388 | △775 |
| 差入保証金の差入による支出 | △1,038 | △1,007 |
| その他 | 223 | 301 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △11,491 | △10,061 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 配当金の支払額 | △1,583 | △1,583 |
| その他 | △151 | △111 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,734 | △1,695 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 586 | 9,066 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 46,458 | 41,425 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 47,044 | 50,491 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは「ドラッグ・調剤事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。